

横浜桜木町の居酒屋に見附島出現

「中島盛夫絵師が見附島の壁画を制作」
 横浜市JR桜木町駅前の飲食店街にある「明るい農村居酒屋ごっこつあん」は、銭湯風の装飾や風呂桶などグッズを揃えたユニークな居酒屋です。中島盛夫絵師（珠洲市観光大使）が珠洲市宝立町の宝湯の壁画を手がけたことをご縁に、見附島観光協会との交流が深まり、同協会の強い要請で同店内に能登半島のシンボル見附島の壁画を制作することになりました。



熱筆を振るう中島盛夫絵師

六月二日（日）午後、横浜市中区の居酒屋ごっこつあんには、同店大森美津男店長が会長を務める「横浜銭湯めぐり会」の仲間や「全国灯台めぐり会」の会員ら約50人余りが客席一杯になり、縦160センチ、幅300センチの壁に筆を走らせる中島絵師の筆捌きに眼を凝らしました。1時間余りで中央に能登のシンボル・見附島が出現し鎮座すると観客から拍手が送られました。その後、左手の丘に遠目の緑剛崎灯台が画かれました。見附島観光協会から差し入れられた宗玄ワンカップ

の振る舞い酒が程良く回ってか「師匠、津波が来ないように画いてよ」との観客の掛け声に中島絵師は「大森店長、つまみがこないって」と心答し、爆笑となりました。

見附島手前に浮かんだ小舟にはどういつ訳か「豚」が画かれ頭を傾げると、観客の一人が「芥川賞作家・荻野アンナさんのキャラクターだよ」と教えてくれました。「豚」の眼入れと「第二宝湯」の記名により3時間程でペンキ絵は完成し、各々和気あいあいの記念撮影となりました。

後半には、いしかわ交流会の参加で遅れた表久雄飯田高校同窓会東京支部長、笠原英二東京珠洲会会長も駆け付け懐かしいふるさとの風景に感激の面持ちでありました。続いて近くの居酒屋で行われた横浜銭湯めぐりの会の懇親会に参加しました。荻野アンナさん（慶應大学文学部仏文科教授）と初対面であったのに臆せずキャラクター



の「豚」について質問、教授は「とんとん拍子」に掛けたとか。表支部長、笠原会長と新しい話題「世界農業遺産」について、揚げ浜塩田、千枚田、あえのことなど豊かな能登の里山里海を解説して、能登来訪に歓迎しますと招請したところ、荻野アンナ教授は「よるこんで、能登（のど）元過ぎたら、にならないように」と快諾の返事でありました。

懇親会の中締めで、役員から「第一宝湯（宝立町所在の銭湯のこと）にも豚を画きに行きましょ」との提案があり、賛同多数の拍手でいきなり「来年一月能登ツアー」を決定、浜っ子の気の早さに驚かされると同時に見附島が能登の重要な観光資源であることが強く認識された一日でした。（光貞記）

飯田高校同窓会 創立百周年事業の内容を決定

飯田高校同窓会は、5月12日飯田高校において「創立百周年事業実行委員会総会」を開催した。総会には実行委員会会長西山郷史（17回生）以下50名が出席し、百周年記念事業として

- ・ 記念式典を平成二十四年十月二十一日（日）挙げる
 - ・ 記念誌「伝説とロマンの里」（仮題）を発刊する
 - ・ 「九十年史」の後を受け継ぎ「飯田高校近十年史」を発行すること
- その他、飯田高校教育振興基金の補助、東日本大震災に対する支援を行うことと決め、同窓生などから広く寄付（一口五千円）を募ることとした。

【お問い合わせ先】

珠洲市野々江町一字一番地 石川県立飯田高校内
 創立百周年事業実行委員会事務局 電話〇七六八八二一〇六九三

「すすろものがたり」18号 昭和30年5月上旬発行から

能登弁を思い出して見ませんが、
 声を出して詠んでみましょう！

民俗資料「ア」と書あったとい

—きつねの恵ちえ—

坂下喜久次

とんと昔あったとい。
 狐と猿と、かわうそと、山のせなに集まって相談したとい。人間の所へ行って何か一品あてもってこまいかて相談したとい。

小豆餅持って来たもと、塩もって来たもと、
 菓座もって来たもとと居ったとい。

狐ぼんな「かわうそさんに魚をとってつけるのに塩をやるし、猿は木の上に乗るさかい菓座をやる。俺や、やーなこっちゃけど、小豆餅をとる」てて言ったとい。

かわうそは塩俵をかんで水の中をくぐってあるいたので、塩がないがなってしまったとい。

猿は木の上に菓座をしいてねまったのですべて下へ落ちた尻をついたら、猿の尻は赤うなったとい。

かわうそと猿は「おどれ狐にだまされた」てて狐のところに行っ

たとい。
 かわうそは「俺や狐どんにだまかされて塩がないがなってしまった」、猿は「俺や狐どんにだまかされてこんなひどい目になった」てて言ったら、狐は「俺はやーでならん、小豆餅食べたら、腹いたつてどうにもならん」てて、檻の中へはいってねとったとい。



とんと昔やすんだとい。

以上少年の頃の思い出 昭29、11、29記（この稿終了）

NHKに「能登平家の郷」をPR

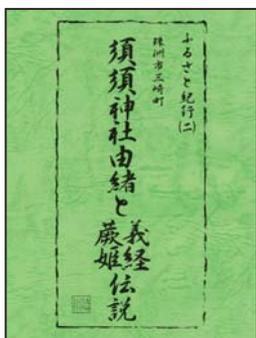
NHKが来年の大河ドラマに「平清盛」を放映することから、平時忠の縁の奥能登を押し出す機会。たとして、珠洲市・輪島市合同組織の「能登平家の郷構想推進協議会」は、大兼政忠男会長（珠洲市議会副議長）ら十数人が5月27日、上京しNHKに要請を行った。珠洲市水元副市長からはNHK製作部長らと面談し、時国家や平時忠の墓所、義経伝説などを解説し、平家のゆかりの地である奥能登がドラマの中で取り上げられるようアピールした。製作者は「時忠の配役はまだ決まっていないが、重要な役柄である」と考慮されていることを披露した。

NHKの往訪の後、目黒駅前「能登の夜市」において珠洲商工会議所藤野裕之・重政靖之両副会長、油谷久雄事務局長ら一行と石川県人会西喬事務局長、東京珠洲会笠原英一会長、間垣部屋・駿馬（中板）、石井かほり監督らと交流会を行い奥能登の押し出しに努力する抱負を熱く語り合った。



新保博司さんの「平時忠伝説」

正院町の新保さんは「ふるさと紀行（一）正院川尻城ものがたり」に続き「須須神社由緒と義経藤原伝説」を発刊した。同誌には「平時忠伝説」も収録されており、壇の浦の戦いに敗れた能登の国に配流になった時忠について記している。



「揚げ浜式製塩法」ドキュメンタリー映画に

東京の映画監督・石井かほりさんが長編ドキュメンタリー映画「ひとにぎりー奥能登の塩ー」（仮題）の制作に取り組んでいる。四季を通じ珠洲の地を丹念に追いかけて、塩づくりを生きたる人々や雄大な自然を映像に納めた石井監督は、豊かな文化財産を後世に伝えたいと抱負を述べている。石川県や石川県観光連盟、珠洲市、珠洲商工会議所が後援しており、今秋の公開が期待されている。製作を支援するサポーター「塩なかま」を募集している。

（お問い合わせ）
〒108-0073
東京都港区三田1-2-20矢島ビル501
映画ひとにぎり製作上映委員会
（南）ヒバナ・エンタテインメント）
TEL 03-5856-6355



◎今年も行事◎

- 7月12日～14日 **がんばろう日本 福島・輪島物産展** 東京丸の内マルキユープ（丸ビル一階）
- 7月20日（水） **ふるさと会連絡会** 千代田区麹町 ラウンジ春秋館 11:30
- 7月24日（日） **能登空港応援隊結成式・交流会** ホテルメトロポリタン 北陸三県の物産展 東武デパート船橋店
- 9月8日～14日 **金沢・能登美味と美技 栃木県福田屋宇都宮店**
- 9月27日～10月3日 **ふるさと回帰フェア2011** 早稲田大学キャンパス大隈講堂、10号館、11号館
- 9月22日～23日 **オーケストラ・アンサンブル金沢東京公演** 『モーツァルト・プログラム』 東京オペラシティコンサートホール
- 9月20日、27～28日 **全国石川県人会連合会全国大会** 山代温泉
- 9月25日（日） **東京珠洲会懇親会** 御徒町吉池ビル 池田屋 午後2時
- 10月13日（木） **いしかわ県人祭** 文京区 椿山荘 午後6時30分
- 10月14日（金） **いしかわ県人祭** 文京区 椿山荘 午後6時30分

◎横浜市鶴見区總持寺のみ霊祭り（7月）、じょうらい祭り（8月）は東日本大震災の発生に鑑み、大幅縮小・中止となりました。

第4回

いしかわ県人祭 in 東京

日時 2011年10月14日(金曜日) 懇親会:午後6時30分～
※午後4時からプラザ5Fロビーで「いしかわ物産市」[お茶席]を開催します。
※会場へはお早めにお越し下さいます様お願いいたします。

会場 椿山荘 プラザ5F「オリオン」
東京都文京区関口2-10-8 TEL:03-3943-1111
主催:「いしかわ県人祭 in 東京」実行委員会
会費:男性 10,000円、女性 7,000円、学生 3,000円

※このチケットはお帰りの際までお持ち下さい。

石川県人会 会員募集中!
TEL 03-3556-1414

石川県交流会の開催

6月12日、千代田区永田町 都道府県会館において「第四回いしかわ交流会の準備会」が開催された。主催者である石川県から北村修観光交流局次長ら幹部が上京、表飯田高校同窓会東京支部長、笠原東京珠洲会会長、安田さいたま石川県人会会長ら在京のふるさと会の代表者など六〇名が参加した。

観光交流局から首都圏からの二四三万人の観光客を五〇〇万人にする観光プランについて、地域振興課から「いしかわ第二のふるさと」振興事業について報告があった。表正人空港企画課長から「能登空港が開港8年目に初めて搭乗率が6割を切る危機的な状況にあり、首都圏で能登空港応援隊を結成して利用促進を図ろう」と訴えた。

第四回いしかわ交流会

8月7日(日) 12:30 ~ 15:00

千代田区隼町一ー一

グラントアーク半蔵門

会費 五,〇〇〇円

県政報告 観光特使の活動報告など
交流と親睦の会

頑張る奥能登人



川島 嘉浩 さん
(能登町・宇出津出身)

【略歴】
平成3年飯田高校卒(43回生)
平成7年3月神奈川大学卒
平成22年3月法政大学大学院にて地域づくりの研究を行う
平成23年3月10日目黒駅前に「能登の夜市」開店

★メッセージ

能登の地酒、食材を揃えて、どっつおうの心でおもてなしをいたします。またアンテナショップとして能登の観光情報の発信基地になるよう頑張ります。皆さん寄ってってください！

釈迦院時雄さんら作品展開催

6月7日から13日まで、中央区八重洲の田中八重洲画廊で釈迦院時雄(釈山人)さんの竹筆を始め陶芸家の為重功さん高島和夫・久子さんの珠洲焼など能登・加賀の伝統工芸展が開催され、大勢の観客が訪れた。釈迦院さん(野々江町85歳)は、竹筆作りの第一人者で昨年3月50年余りの竹筆作りの苦闘など思いをつづった詩歌文集「竹筆の旅ー今日即有」を出版した。



お問い合わせ先

金沢市石引4-2-8 秀晃ビル
イーグル技術研究所 TEL 076-225-7007

奥能登食材の居酒屋「能登の夜市」を開店



事務局から

○過疎化、高齢化など地方の空洞化が大きな社会問題になっています。そうした中石川県人会の活動では、いしかわ交流会、いしかわ県人祭などの首都圏の行事が年々盛会となると同時に、観光特使の依頼、ふるさと納税など地元石川県との各方面の連携が徐々に強まってきています。ふるさとへの活性化に果たす各方面の役割が期待されています。

○当応援団は発足3周年を迎えました。認知度も高まり「石の上にも3年」でしょうか。当初からの活動目的「ふるさとと奥能登と首都圏の出身者の橋渡しを通じて奥能登の振興を支援する」に立ち返ると、一定の成果を感じとれるものの、まだまだ、の感は否めません。引き続きのご支援をお願いいたします。

○この度、乙丸秀次氏(飯田高校21回生・若山町出身)に事務局を手伝ってもらうことになりました。よろしくお願いたします。(事務局 光真)

制作 株式会社 警察研修社 TEL. 03-3365-3829